



分けつの発生を早めに促す重要な時期！

浅水管理を徹底して適正茎数を確保！

◎ 生育概況と技術対策

田植え作業は順調に進み、良好なスタートを切りました。

5月31日現在の生育は、草丈は短く、茎数は少なく、葉数は平年並みの状況です。

平坦部「雪若丸」の生育（5月31日）

項目	調査値	平年値	平年比・差	(概況)
草丈	18.3 cm	19.4 cm	94	短い
茎数	106 本/m ²	114 本/m ²	93	少ない
葉数	4.7 枚	4.7 枚	0	平年並み

(農業技術環境課調べ)

「雪若丸」は、指標通りの穂数を確保しないと収量に結びつきません。早めに分けつの発生を促し、初期生育の確保に最大限努めましょう。

5月31日発表の2週間気温予報によると、6月1日以降は気温の低い日が続く見込みです。6月上旬は、初期生育量を確保するための重要な時期であり、この時期の茎数が収量に大きく影響します。浅水管理を徹底して行い、地温・水温を高め、分けつの発生を促しましょう。

◎ 浅水管理とワキ対策で分けつ促進！

活着後は2～3cm程度の浅水で管理し、日中は止水、夜間かんがいで分けつの発生を促します。表層剥離や土壌の異常還元（ワキ）がみられる場合は、速やかに水交換を行いましょう。ワキが強い場合は、田干しや夜間落水を行い、根圏環境の改善を図りましよう。

「雪若丸」時期別生育指標（6月）

地域	6月10日	6月20日	6月30日
草丈 (cm)	25	32	41
内陸 茎数 (本/m ²)	240	460	590
葉数 (枚)	6.4	8.1	9.3
葉色 (SPAD)	37	43	43
庄内 草丈 (cm)	26	34	45
茎数 (本/m ²)	280	520	670
葉数 (枚)	6.8	8.5	9.6
葉色 (SPAD)	41	44	42